

新年を迎えて

市民の皆さんからの
メッセージ

成人を迎えて

三上 雅史

私は、幼い頃からの夢であった消防士を平成21年4月に拝命し、現在は岩見沢地区消防事務組合岩見沢消防署にて勤務しております。

市民の方々の安心、安全を守る消防職員として火災、救急、救助等の災害現場で対応するため昼夜を問わず消防業務に就く日々は、使命感と充実感を常に感じております。

今春、成人を迎え、更なるたくさんの夢や希望を胸にし、成人となった喜びを感じているところですが、私ひとりでは成人となり、この日を迎えられたのでは決してありません。まず初めに私は、両親や家族、学生時代の先生方、共に学び育った仲間たち、そして地域の方々などのたくさんの支えがあつて迎えられたことに深く感謝することから成人としての一歩を踏み出したいと思っております。

これからの私は、大人の一員として成人の自覚、責任を持って現代社会を生きていくと思っておりますが、突然と生活が変わり、行動が変わってしまうことではなく、今日までたくさんの方々からいろいろな場面で教わってきたことひとつひとつがその責務であり、ルールやマナーを相手の立場になって、思いやりを持ち、そして守っていくことに尽きると思っております。

たくさんの方々から学び、支えて頂いた感謝の気持ちを込めて、今後モ社会に少しでも貢献できるよう、精いっぱい尽力していきたいと思っております。



新年を迎えて

長尾 高志

私は、地域作りに取り組む岩見沢市青年団体協議会の会長をしています。

ドカ雪まつり、いわみざわ赤れんが夏祭り、サンタ事業など多くの活動を展開していますが、今年は新たに私たちで取り組んでいる人形劇を活動の中に盛り込んでいきたいと考えています。

人形劇は昨年の12月から製作しており、脚本、人形、舞台装置まで全て団員の手作りによって行っています。最初はどこから手をつけてよいかわからず、とても苦労しましたが、札幌市若者活動センターの穴澤先生にお越しいただき、沢山のご指導を受けることが出来たのは団員のやる気を高めるものとなりました。

また、岩見沢市教育委員会生涯学習振興課、岩見沢市勤労青少年ホームの職員の方々からご支援を頂き、誠にありがとうございました。

この青年の人形劇団の発表は、1月30日に長沼町で行われる「第10回南冠青年祭」で発表をします。ちょっとだけ内容をお話しますと、いわみざわの玉ねぎが、旅をしながら岩見沢の特産品を探すというお話です。詳しくは、見てください。また上演を希望される方も青年団体協議会にご連絡頂きたいと思っております。

今年も市のために何が出来るかを考えて、団員の皆さんと豊かな活動をしていきます。



新成人の年を迎えて

森田 彩乃



私も今年でとうとう成人の年を迎えてしまいました。幼い頃は、「20歳」と聞いただけでとても大人に感じていたのに、いざ自分が「20歳」になってみると、「何だ、20歳ってまだまだ子供じゃん」というのが今の正直な気持ちです。

20歳という節目の年を迎えたところで、自分の気持ちに何か変化があるわけでもなく、「成人おめでとう」「もう大人だね」なんていわれても実感なんてまだまだありません。見た目は「大人」の仲間入りでも、中身が「大人」の仲間入りを果たすには程遠いです。

この20年間、両親にかけた迷惑は数知れず。こんなにわがままで自分勝手な私に、人よりたくさん色々な経験をさせてくれた両親には、感謝してもしきれません。大学を辞めたときは、心配ばかりかけて本当に申し訳ないと思っているけど、フリーター生活の中で学んだことは多く、社会の厳しさや働くことの大変さ、つらさを自分自身で経験し、仕事に対する色々な人の話を直接聞くことで培ったものは、これからの自分に大きなプラスになると思うし、いい経験をしたと思っています。

「もう20歳なんて考えの人もいるかもしれないけれど、私にとっては「まだ20歳」。やりたいこともまだまだたくさんあるし、夢や目標がないわけでもない。だから私は「やる前に諦めるよりまずはやってみる」「どうせ後悔するならやってみよう」「これからよりも今を大切に何事にもチャレンジしていきたいです」。

今は恥ずかしくて面を向かって「ありがとう」なんて伝えられないけれど、いつかは両親に「生んでくれて、育ててくれて、ありがとう」ってちゃんと感謝を伝えてあげたい。

まだ始まったばかりの20歳。まだまだ右も左もわからない状態で周りに迷惑ばかりかけてしまっただけで、「あー」「うー」「めんなさい」の気持ちを忘れずに、今までよりもっと充実した日々を過ごせるように、ただひたすら前だけを見て進んでいきたいと思えます。

新年を迎えて

山本 智幸



新年明けまして、おめでとうございます。新しい年を迎えて、「今年も頑張るぞー」と、決意を新たにしました。

毎年の様に思っている事があり、「今年こそは良かったなあと思える1年になる様だ」と思っています。だからと言って昨年が良くなかった訳ではないのですが、何かと毎日忙しく過ごし、あつという間に1年が過ぎてしまっている、というのが現実です。

新年の抱負として、「何事にも前向きに自分なりに、コツコツと出来ることを着実に実行し身に付ける」という抱負のもと、1年を過ごしたいと思っております。

家づくりの仕事にたずさわる自分としての昨年は、相変わらず世の中に明るい話題が少ない中、住宅工ポイントや、岩見沢市で行っているリフォーム助成金により、家づくりにたずさわる私たちにとっても、お客様にとっても、いい1年だったと思います。

家づくりの仕事にたずさわって自分自身、いつも勉強になる事ばかりで、今年の仕事の目標は、「お客様の気持ち、感覚、理想」に近づける様、新しい情報や経済動向にアンテナをはり、着実に地に足を付けてコツコツと仕事に取り組みたいと思っています。

個人的には、しっかりと自分の時間を作り、小さな事でもいいので継続して出来る事を見つけて、地域の振興発展、福祉、次世代を担う子供たちのために、貢献できる取り組みに積極的に参加する事など、しっかりと自分自身が成長出来る年にし、皆様に信頼される自分づくりを目標として、頑張る1年にしたいと思います。

今年も、皆様方にとって良い年であります様、心からご祈念申し上げます。